



「ストップ・ザ・無縁社会」
 広がれ! 全県キャンペーン
<http://stop-muen.jp>

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの
 最新情報や、支え合いのメッセージをお伝えします。

TOPICS

支え合いのまちづくりを広げよう! ~推進フォーラムを開催~

「無縁社会」が広がりを見せる中、地域では退職したシニア世代などによる新たな支え合いの活動が生まれています。このたび推進協議会では、3月15日に神戸朝日ホールにて「支え合いのまちづくり推進フォーラム」を開催し、450人の参加がありました。

フォーラムでは、シニア世代による実践報告として、引きこもりなどで居場所を求める若者たちとカフェを開設した「アクティブ美輝」(三木市)と、山間の12世帯の集落で特産品づくりによる村おこしを進める「丸味げんき村」(香美町)の活動が報告されました。それぞれの代表からは、「若者たちと「共に遊んでいる」という感じで取り組んでいる」「小さな集落でもこんなことができるという自信につながった」など、さまざまな活動のヒントが話されました。

続いて、テレビでもおなじみの漫才師の宮川花子さんより、「手をつないで、支え合って」と題しての記念講演があり、脳出血で倒れた夫・大助さんのリハビリの様子などが

笑い涙を交えて語られました。参加者からも「家族と夫婦の絆の大切さを感じた」などの感想をいただき、支え合い社会づくりに向けた気運を高める機会となりました。

なお、本フォーラムの開催にあたっては、公益財団法人大阪ガスグループ福祉財団より多大なご支援をいただきました。ここに改めてお礼申し上げます。



「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンは、平成28年度も継続して展開していくこととなりました。引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

認知症についての理解を広げる

新温泉町では、1月30日に一般町民の方を対象として福祉講演会を開催し、約330人の方の参加がありました。

今回のフォーラムでは、増加し続けている認知症を正しく理解して、地域での見守りや介護に役立てていただくため、「泣いて笑って共に歩む道」と題して、社会福祉法人関寿会はちぶせの里の米田民子さんの講演があり、若年性認知症のご主人を介護されている介護体験が話されました。

オープニングではフルートと二胡の演奏も楽しんでいただき、最後には米田さんも交えて認知症の方の家族の方との意見交換が行われ、2月より同町でも認知症カフェが毎月1回開催されることが決まりました!



ホンモノの「支え・合い」を学ぶ

伊丹市では、3月3日に地域見守りフォーラムを開催。「『見守り活動』から『見守られ活動』へ～ホンモノの「支え・合い」づくり・5つのポイント～」と題し、ご近所福祉クリエイター酒井保さんの講演と、会場ロビーで「市内の『見守り』『見守られ』活動紹介」を行い、約500人の参加がありました。

講演では、「支え・合い」とは“できることの交換作業である”ということや、“支えられる側も役割をもつことが大切である”ことを学びました。また、活動紹介では活動者本人による体験・制作ブースを設けたところ、フォーラム参加者からふれ愛福祉サロン等での講師依頼が入るなど、新たなつながりが生まれていました。

